

Bibliographic data	Description	Claims	Mosaics	Original document	INPADOC legal status
--------------------	-------------	--------	---------	-------------------	----------------------

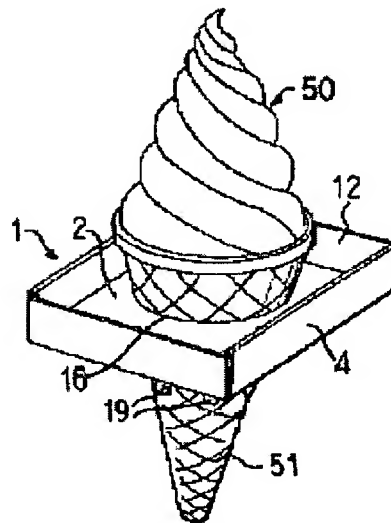
Publication number:	JP11137179
Publication date:	1999-05-25
Inventor:	OKUDA FUMIO
Applicant:	SUZUYA SHOKUHI KK
Classification:	
- international:	A23G9/00; A23G9/00; (IPC1-7): A23G9/00
- european:	
Application number:	JP19970320460 19971106
Priority number(s):	JP19970320460 19971106
View INPADOC patent family	

[Report a data error here](#)

Abstract of JP11137179

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a cone cup holder for ice-cream to prevent hands and fingers from being contaminated with drippings of ice-cream and to give a sense of security in eating ice-cream in hand.

SOLUTION: This holder is produced by forming supporting flaps 19 for an opening which are formed by score cutting in plural deep grooves extending radially from the central part of a flat base plate 2 and by surrounding the plate 2 with outer walls 4 which are made of outer circumferential linked parts 12 of the plate 2 and are raised from the plate 2.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-137179

(43) 公開日 平成11年(1999) 5月25日

(51) Int.Cl.⁶

A 2 3 G 9/00

識別記号

F I

A 2 3 G 9/00

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-320460

(22) 出願日 平成9年(1997)11月6日

(71) 出願人 597163773

寿々屋食品株式会社

東京都台東区台東4-12-1

(72) 発明者 奥田文雄

東京都文京区本郷5-15-13

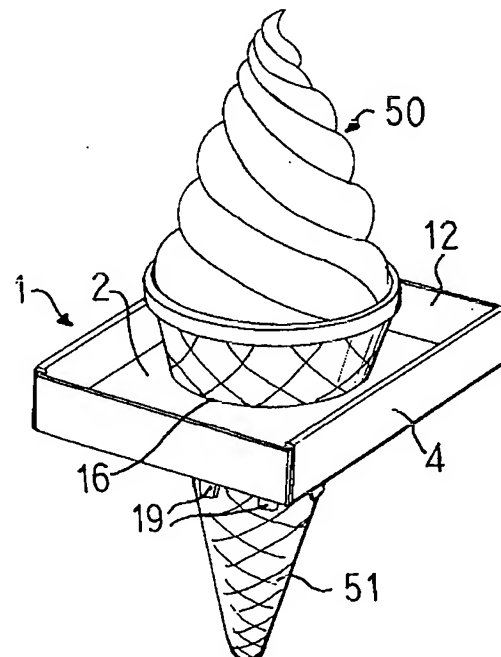
(74) 代理人 弁理士 吉澤 弘朗

(54) 【発明の名称】 アイスクリーム用コーンカップ保持具

(57) 【要約】

【課題】 アイスクリームを手にとって食べる時に、アイスクリーム垂液により手指を汚すことはなく、かつ安定感を生じるアイスクリームコーンカップ用保持具を提供する。

【解決手段】 扁平状をなす基板の中心部より放射状に切り込み線を複数設けて開口支持片を形成するとともに、前記基板の外周縁に連設される外周辺を該基板の上方向に立ち上げて外周壁を形成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】扁平状をなす基板の中心部より放射状に切り込み線を複数設けて開口支持片を形成するとともに、前記基板の外周縁に連設される外周辺を該基板の上方向に立ち上げて外周壁を形成することを特徴とするソフトクリームなどのアイスクリーム用コーンカップ保持具。

【請求項2】請求項1に記載された発明において、前記開口支持片は前記基板の中心部に設けた挿入口と、該挿入口の周縁より同一軸心状に複数の折曲線を蛇腹状に形成するものであることを特徴とするソフトクリームなどのアイスクリーム用コーンカップ保持具。

【請求項3】請求項1及び請求項2に記載された発明において、前記基板は略円形状をなし、前記外周辺においては該基板の外周縁より放射状に複数の折曲線が形成されているものであることを特徴とするソフトクリームなどのアイスクリーム用コーンカップ保持具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、ソフトクリームなどのアイスクリームを食する時に用いられるアイスクリーム用コーンカップの保持具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】ソフトクリームなどのアイスクリームは、コーンカップの上部に露出して盛りつけられ、その下部のコーンカップを手で持って食するのが通常である。しかし冷凍したアイスクリームは、徐々に体温や平温下で溶解するので、溶け出たアイスクリーム垂液がコーンカップより流れ出て、手指を汚す事がしばしばあり問題となっていた。ここで、従来アイスクリーム用コーンカップを改良したものとしては、図7に示すように、コーンカップ61自体を二重構造に成型し、内側コーンカップ63と外側コーンカップ62との間に設けた垂液受用ポケット65に垂液を落下させることで、手指が汚れることを防止せんとするものが知られている（実開昭61-66491号）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記考案においては以下の問題点が生じていた。すなわち二重構造に成型されたコーンカップはそれ自体が複雑な形状となり、内側コーンカップのみに半流動体であるソフトクリームなどのアイスクリームを盛り付けることは決して容易でなく、特に迅速さが要求される飲食サービス業務においては、実際的とはいえなかった。また、コーンカップ自体を二重構造に成型しようとせんがため、通常よりも複雑な製造工程を要する事になり、そのコストは高くなり、アイスクリームの販売価格との関係からも、本考案が実施される頻度は非常に少なかったといえる。

【0004】ところで、ソフトクリームなどのアイスクリームをコーンカップの上部に盛りつけることは、高さがかさばり、またその重心が上方となることより、通常

円錐状あるいは斜円筒状に形成されたコーンカップのみにより上方のアイスクリームを保持することは極めて不安定となる。特に、ソフトクリームなどのアイスクリームは、手に持って歩き回りながら食するような場合も多く、そのバランスを崩してアイスクリーム全体をひっくり返してしまうようなアクシデントもしばしば生じていた。

【0005】本発明は上記された問題に鑑みてなされたもので、ソフトクリームなどのアイスクリームを食べる時に、溶解したアイスクリーム垂液により手指を汚すことはなく、かつコーンカップを手を持った場合に、より安定感を生じるアイスクリームコーンカップ用保持具を提供する事を目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため請求項1に記載された本発明は、ソフトクリームなどのアイスクリーム用コーンカップ保持具において、扁平状をなす基板の中心部より放射状に切り込み線を複数設けて開口支持片を形成するとともに、前記基板の外周縁に連設される外周辺を該基板の上方向に立ち上げて外周壁を形成することを特徴とするものである。

【0007】かかる発明によれば、アイスクリームをコーンカップに盛り付けた後、コーンカップの下部先端をコーンカップ保持具の基板中心部に差込めば良い。コーンカップの下部先端は通常円錐状あるいは斜円筒状であり、基板中心部において放射状の切り込み線により形成された開口支持片は自然と下方に折り曲げられ、コーンカップの下部先端が自然に挿入されると共に、開口支持片がコーンカップを軽く側部より押圧しつつ、コーンカップ保持具はコーンカップ略中央部で固定される。

【0008】また請求項2に記載された本発明は、請求項1に記載された発明において、前記開口支持片は前記基板の中心部に設けた挿入口と、該挿入口の周縁より同一軸心状に複数の折曲線を蛇腹状に形成することを特徴とするものである。

【0009】かかる発明によれば、前記同様コーンカップにアイスクリームを盛り付けた後、コーンカップ先端をコーンカップ保持具の基板中心部に押し込めば良い。基板中心部における挿入口周縁に形成された蛇腹状の折曲部が下方に自然に拡がって、前記同様コーンカップ保持具はコーンカップ略中央部で固定される。

【0010】さらに請求項3に記載された本発明は、請求項1及び請求項2に記載された発明において、前記基板は略円形状をなし、前記外周辺においては該基板の外周縁より放射状に複数の折曲線が形成されているものであることを特徴とするものである。

【0011】かかる発明によれば、コーンカップ保持具の外周壁が、基板の外周辺全体を同時に上方に折り曲げることで自然に立ち上がるので、きわめて容易に形成される。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、添付図面を参照しつつ本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具を説明する。図1は、請求項1に記載された本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具の実施例を示す展開図である。すなわち、本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具1は、例えば0.3mm厚程度の厚紙を素材として、コーンカップの直径に対応した大きさの各辺8cm程度の正形状からなる基板2及びその外周縁において幅1cm程度の第一外周辺4及び第二外周辺12（外周縁のうち相対向する組み合わせとなる）をそれぞれ第一折り曲げ部3及び第二折り曲げ部11を介して連設し、また第一外周辺4においては、さらにその外周縁にも幅1cm程度の折り返し辺6を第三折り曲げ部5を介して連設する。また折り返し辺6の外周縁においては長さ1cm幅3mm程度の差し込み部8を各辺二箇所ずつ程度突設すると共に、第二外周辺12の両端には支持片14を第四折り曲げ部13を介して連設する。さらに基板2の中心部において、直径1cm程度の円形からなる挿入口17を開口し、該挿入口の内周縁から長さ2.5cm程度の切り込み線18を放射状に8本程度切断することで開口支持片19を形成し、さらに放射状に広がった切り込み線18の末端により描かれる外周円上に第五折り曲げ部16を設け、一方差し込み部8が挿入される差し込み穴9を第一折り曲げ部3上に切断、形成する。

【0013】また図2は、アイスクリーム用コーンカップ保持具1の組立状態を示す斜視図である。図2に示されるように、まず第二外周辺12が第二折り曲げ部11より基板2に対し90度上方向に立ち上げるよう折り曲げられ、続いて支持片14が第四折り曲げ部13より基板2の外周縁上に位置するよう折り曲げられる。また、第一外周辺4が第一折り曲げ部3より前記同様に基板2に対し90度上方向に立ち上げるよう折り曲げられ、さらに連接された折り返し辺6は支持片14を挟み込みつつ第三折り曲げ部5により基板2に対し90度下方向に折り返され、同時に折り返し辺6に突設された差し込み部8が差し込み穴9に挿入、固定されることにより、コーンカップ保持具1の外周壁部が組立て形成される。なお、これら全ての工程は、プレス切断加工による成形の後、手作業による折り曲げ加工あるいは自動折り曲げ加工が可能であり、本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具は、極めて安価に製作される。

【0014】図4は、請求項2に記載された本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具の実施例を示す斜視図である。本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具21は、例えば0.05mm厚程度の軟化プラスチックを素材として、請求項1に記載された本発明と同様の構成、すなわち図4に示されるような基板2、第一外周辺23、第二外周辺32、折り返し辺2

4、差し込み部29などにより、その外周壁部を組立て形成する。また基板22の中心部においては直径1cm程度の円形からなる挿入口27を開口し、その周縁より幅0.5mm程度間隔で同一軸心上に10本程度の折曲線28を蛇腹状に形成する。

【0015】また図5は、本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具21の使用状態を示す断面図である。すなわち、コーンカップ51にアイスクリームを盛り付けた後、コーンカップ51の先端をコーンカップ保持具21の基板中心部に押し込むことで、挿入口27の周縁より形成された蛇腹状の折曲部28はその末端26まで下方に広がり、コーンカップ保持具21はコーンカップ51の略中央部で固定される。なお、予め蛇腹状の折り曲げ部28は下方に折り曲げ加工しておくことも可能であり、その場合にはコーンカップ51をコーンカップ保持具21に挿入、固定し易くなる。全ての工程が、一体プレス成形及び自動折り曲げが可能であり、本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具が極めて安価に製作されることも請求項1に記載された本発明と同様である。

【0016】また図6は、請求項3に記載された本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具の実施例を示す斜視図である。図6に示されるように、本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具41は、例えば0.1mm厚程度のアルミニウムを素材として、基板42を略円形状に形成し、その外周縁において幅1cm程度の外周辺48を第一折り曲げ部49を介して連設し、さらに外周辺48には該基板42の外周縁より中心部より放射状に幅3mm程度の間隔で複数の折曲線を形成する。また基板42の中心部において、挿入口44、切り込み線45、第二折り曲げ部43により開口支持片46を形成することは、請求項1に記載された発明と同様であり、場合によっては請求項2に記載された発明と同様に挿入口と蛇腹状の折り曲げ部により構成することもできる。かかる発明によれば、コーンカップ保持具の外周壁部が、第一折り曲げ部49より、外周辺48全体を上方に同時に折り曲げ加工することで立ち上がるので、きわめて容易に形成される。なお全ての工程が一体プレス成形及び自動折り曲げが可能であるのは、請求項1及び請求項2に記載された発明と同様である。

【0017】なお本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具は、もちろん上記実施例に限定されるものではない。例えば、基板の外周形状は図示された正形状、円形状に限られるものではなく、種々の装飾形状、例えば三角形状や星形状を採用することもできる。また外周壁部の形成方法は、前述の差し込み片を使用した組立方法や蛇腹を使用した折り曲げ方法に限られるものではなく、各外周縁の両端を、例えば食用接着剤（具体的には商標名ホットメルトなど）を使用することにより互いに接着して立ち上げることもできる。また、基板の

素材についても、前述の厚紙や軟質プラスチック、アルミニウムに限られるものではない。

【0018】

【発明の効果】本発明は上記のような構成であるから、ソフトクリームなどのアイスクリームを食する時に徐々に溶解した垂液がコーンカップから漏れ出しても、アイスクリーム用コーンカップ保持具の外周壁部により基板の上に溜められるので、流れ落ちて手指を汚す事はない。またナッツやチョコレート粒などによるトッピングを付したアイスクリームにあっても、トッピングの散乱が外周壁部により防止され極めて衛生的である。その使用にあたっては、ソフトクリームなどのアイスクリームをコーンカップに盛りつけた後、コーンカップ下部よりコーンカップ保持具の基板中心部に設けられた開口支持片や挿入口に単に差し込み固定する作業のみを行えば良く、特に迅速さが要求される飲食サービスにおいては实际的である。さらにソフトクリームなどのアイスクリームを歩きながら食する場合においても、アイスクリームの自重によりコーンカップがコーンカップ保持具との間に密着し、ここでコーンカップ保持具はコーンカップ自体より面積が広いので、より安定してソフトクリームなどのアイスクリームを手に保持することができる。なお持ち帰りされるソフトクリームなどのアイスクリームの場合にあっては、持ち帰りケースに、例えば正方形や円形状などのコーンカップ保持具の外周形状と嵌合する凹穴を形成しておくことにより、コーンカップ保持具の外周壁面全体でソフトクリームなどのアイスクリームが係止され、より確実にケースに固定されるので、持ち運びも極めて安全となる。

【0019】

【図面の簡単な説明】

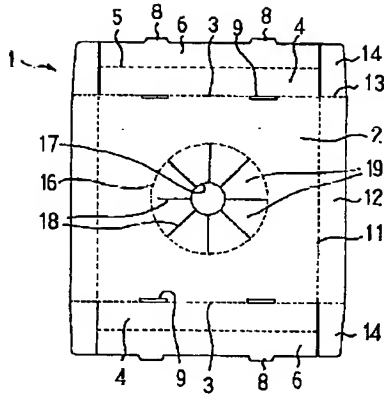
図1は、請求項1に記載された本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具の展開図である。図2は、請求項1に記載された本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具の組立状態を示す斜視図である。図3は請求項1に記載された本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具の使用状態を示す斜視図である。図4は、請求項2に記載された本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具の斜視図である。図5は、請求項2に記載された本発明に係るアイスクリーム用コーンカップ保持具の使用状態を示す断面図である。図6は、請求項3に記載された本発明に係るアイスクリーム用コーン

ンカップ保持具を示す斜視図である。図7は、従来のアイスクリーム用コーンカップを示す側部断面図である。

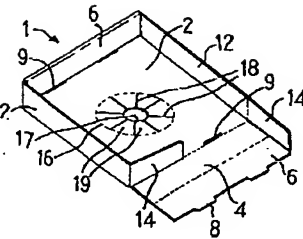
【符号の説明】

- 1 アイスクリーム用コーンカップ保持具
- 2 基板
- 3 第一折り曲げ部
- 4 第一外周辺
- 5 第二折り曲げ部
- 6 折り返し辺
- 8 差し込み部
- 9 差し込み穴
- 11 第三折り曲げ部
- 12 第二外周辺
- 13 第四折り曲げ部
- 14 支持片
- 16 第五折り曲げ部
- 17 挿入口
- 18 切り込み線
- 19 開口支持片
- 21 アイスクリーム用コーンカップ保持具
- 22 基板
- 23 第一外周辺
- 24 折り返し辺
- 26 末端
- 27 挿入口
- 28 折り曲げ線
- 29 差し込み部
- 32 第二外周辺
- 41 アイスクリーム用コーンカップ保持具本体
- 42 基板
- 44 挿入口
- 45 切り込み線
- 46 開口支持片
- 48 外周辺
- 49 第一折り曲げ部
- 50 アイスクリーム
- 51 アイスクリーム用コーンカップ
- 61 アイスクリーム用コーンカップ
- 62 外側コーンカップ
- 63 内側コーンカップ
- 65 垂液受用ポケット

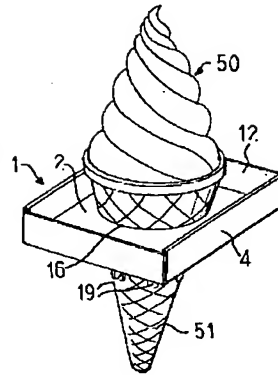
【図1】



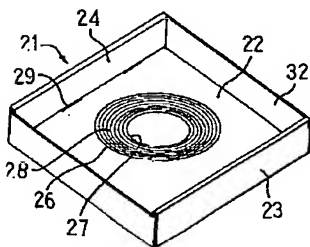
【図2】



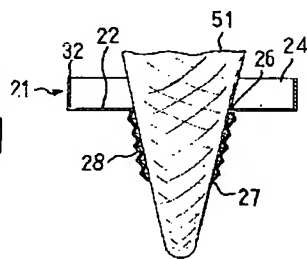
【図3】



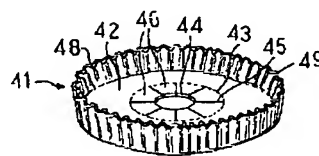
【図4】



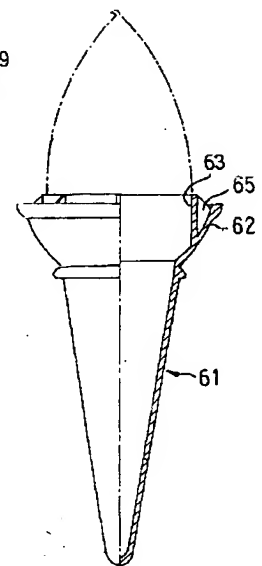
【図5】



【図6】



【図7】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.